

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月13日

事業所名 放課後等デイサービスしーど

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			活動内容を分け、分散化を図っています。	
	2	職員の配置数は適切である	4			利用人数や特性に配慮し人員配置を行っています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			プライバシー保護のためトイレに手すりを設置しています。	バリアフリーが必要な利用者様はいないが、もし必要になれば玄関等にも設置を検討します。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4			定期的にミーティングを行い、事業所としての支援の基本を忘れず崩さないことで職員1人1人が自然とできています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		2	2		保護者向けアンケートを配布し、意向等を把握し、活動に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		3	1		開所したばかりで今回が初めてのアンケート調査となります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	2		外部評価を行っていない。職員、管理者、代表者にて業務改善に向けて定期的にミーティングを行っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			定期的を実施し、記録に残しています。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			子どもたち一人ひとり個別に話を聞き、保護者様との関わりの中で本人に合った計画を提案、作成をしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			アセスメントシートを活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			職員会議の際に実施しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			全職員で活動内容を検討したり、子どもたち自身で活動を考える取り組みも行っていきます。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			個別支援計画書をもとに課題設定を行っています。平日、休日、長期休暇に関わらず、今何ができるのかを意識し、臨機応変に課題設定を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			打ち合わせを行い、スムーズに支援ができるようにしている。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			その日の支援を振り返り、気づいた点を職員同士で話し合い共有している、	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			支援後、記録を取っており、振り返り活かしている。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			職員会議の際に見直しを実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			児童発達支援管理責任者、直接支援員が参加しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4			保護者様からLINE等のSNSで、情報提供して頂くようお伝えし、細かいことも連絡を取り合っています。連絡調整のフローチャートを活用しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1			現在、医療的ケアが必要なご利用者はいらっしゃいませんが、受け入れの際は担当者会議などにおいて連絡態勢を整えたいと思います。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		2	2		昨年8月に開所しているため、保育園、幼稚園、こども園との情報共有は行わず、学校の担任の先生、支援クラスの先生と送迎時に情報共有を行っています。新たに連絡帳等を活用したり、学校側へ担当者会議の提案を行い、情報共有、相互理解に努めたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3	1		移行するご利用者は開所から今までいらっしゃいませんが、情報提供の準備はできています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2	2		佐賀県庁障害福祉課の担当者と連携し、虐待防止対策の研修を事業所で行いました。有用な研修を受講していきたいと思っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4				
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2	2		主業務に支障がないよう時間を作り、できるだけ参加したいと思っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				保護者様、ご利用者との信頼できる関係性を築くことで、どんなことでも気軽に相談や、情報共有、共通理解ができるように努めています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4				送迎の際や、相談を受けた際、保護者会にて療育の方法についてお伝えしています。今後はLINEやインスタグラムなどのSNSを通して取り組みたいと思います。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時に重要事項説明書、利用契約書の丁寧な説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1			相談があったときはその場で解答せずに、職員間で情報共有、悩みに対する対処法、療育の方法を話し合い、助言につなげていきたいと思っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			保護者会の実施を行っています。子どもと保護者様で場所を分けて実施しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			管理者と協議し速やかに対応。情報は職員間で共有し、再発防止に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			毎月のお便りや、Instagramに月のプログラム、活動写真を載せ、発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	4			個人情報の取扱いについて社外への持ち出しは厳禁とし、鍵をかけ保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	1		今後、地域住民も参加できるようなイベントを検討したいと思っています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			消防署の方々をお呼びして避難訓練を行っている。(年に2回)	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			佐賀県庁障害福祉課の担当者様と連携し、虐待防止対策の研修を事業所で行いました。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1			本事業所は身体拘束自体を厳禁としています。今までに身体拘束の3原則に当てはまる事例も起きていません。身体拘束をしなくて済む方法を必ず行うようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			契約時、調理活動やおやつ提供の際にアレルギーの有無を確認しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			ヒヤリハットの作成例を職員に配布しています。	